

SONY 製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

アクティブスピーカーシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この**取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SRS-D211

©2005　Sony Corporation
Printed in Malaysia



* 2 5 9 3 5 8 8 0 5 * (1)

正しくお使いいただくために

安全上のご注意

安全について：
家庭用電源コンセント(AC 100V)につないでお使いください。

電源コードについて：
電源コードを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグを持って抜いてください。

留守にするときは：
本機のPOWERスイッチをOFFにしただけでは、電源は完全に切れていません。ご旅行などで長い間お使いにならないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

異常や不具合が起きたら：
万一、異常や不具合が起きたときや異物が中にはいったときは、すぐに電源コードを抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

取り扱い上のご注意：

- スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。
- 特に、ジャックには異物を入れないでください。故障や事故の原因になります。
- 破損を防ぐため、本機をパーソナルコンピュータやオーディオ機器と接続する前にそれぞれの電源を切ってください。

お手入れのしかた：

- キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

主な仕様

質量	約134 g (コントローラー) <p>約294 g (サテライトスピーカー)</p>
コードの長さ	約4.2 kg (サブウーファー) <p>約2 m (コントロールケーブル) <p>約2 m (電源コード)</p></p>
付属品	保証書付き取扱説明書 (1) <p>ソニーご相談窓口のご案内 (1)</p>
別売りアクセサリ	プラグアダプター <p>PC-236MS (ミニプラグ ↔ ステレオミニジャック)</p> <p>接続コード <p>RK-G136 (ステレオミニプラグ ↔ ステレオミニプラグ) (1.5 m)、 <p>RK-G138 (ステレオ2ウェイプラグ ↔ ステレオミニジャック)</p></p></p>
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。	
* JEITAは電子情報技術産業協会の略称です。	
よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 <p>http://www.sony.co.jp/support</p>	
使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル <p>携帯電話・PHS 一部のIP電話</p> <p>……………0120-333-020</p> <p>……………0466-31-2511</p>	フリーダイヤル <p>携帯電話・PHS 一部のIP電話</p> <p>……………0120-222-330</p> <p>……………0466-31-2531</p> <p>※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。</p>
	FAX (共通) 0120-333-389
	↓
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。	
	ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1
スピーカー部	
サテライトスピーカー	
型式	フルレンジ
使用スピーカー	防磁型 (JEITA*)
エンクロージャー方式	コーン型
	密閉型
インピーダンス	4 Ω
コードの長さ	2 m
サブウーファー	
型式	アクティブサブウーファー
使用スピーカー	直径 120 mm、コーン型
エンクロージャー方式	バスレフ型
インピーダンス	8 Ω
アンプ部	
実効出力	5 W (全高調波歪 10 %、1 kHz、4 Ω) (サテライトスピーカー)
	25 W (全高調波歪 10 %、100 Hz、8 Ω) (サブウーファー) (JEITA*)
入力	ステレオミニプラグ付き入力コード (2 m) ×1
	ステレオミニジャック×1 (INPUT 2)
入力インピーダンス	4.7 kΩ (1 kHz)
出力	ステレオミニジャック (PHONES)
電源部・その他	
電源	AC 100 V (50/60 Hz)
消費電力	18 W
最大外形寸法	約50×140×99 mm (コントローラー)
	約98×124×84 mm (サテライトスピーカー机上時)
	約98×98×83 mm (サテライトスピーカー壁掛時)
	約163×267×301 mm (サブウーファー) (幅/高さ/奥行き)

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら	→	<div> <div>① 電源を切る</div> <div>② 電源コードを抜く</div> <div>③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する</div> </div>

火災・感電により大けがの原因となります。

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ぬれた手で電源コードをさわらない

感電の原因となることがあります。

		ぬれ手禁止
--	--	-------

本体や電源コードを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

		禁止
--	--	----

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

はじめからボリュームを上げすぎない
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、M.D.C.DやD.A.Tなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くとときにはご注意ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェック
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

警告表示の意味		
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。		
危険		
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。		
警告		
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。		
注意		
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。		
注意を促す記号		
火災	感電	
行為を禁止する記号		
禁止	接触禁止	ぬれ手禁止
行為を指示する記号		
指示		

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

		禁止
--	--	----

		ぬれ手禁止
--	--	-------

		禁止
--	--	----

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

	禁止
--	----

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

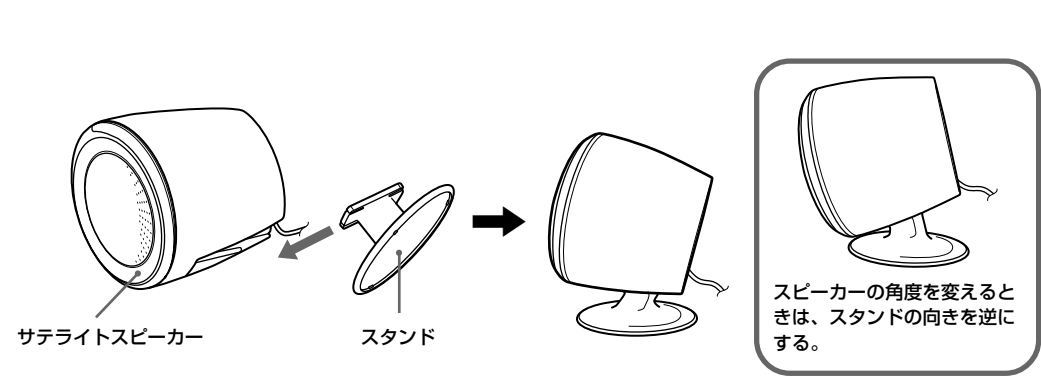
当社ではアクティブスピーカーシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

サテライトスピーカーの設置

サテライトスピーカーは、机に置いたり、壁に取り付けたりして使います。

机に置いて使うときは

サテライトスピーカーにスタンドを取り付けて、机に置いて使います。



1 サテライトスピーカー底面にある溝に、スタンドを差し込む

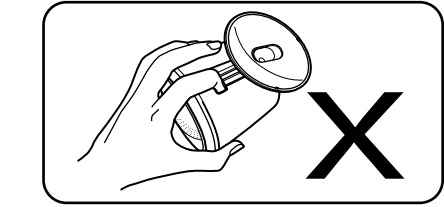
スタンドを取り付けると、サテライトスピーカーを好みの角度に調節できます。

2 スタンドが固定されていることを確認する

「カチッ」という音がするまで、スタンドを溝に押し込んでください。

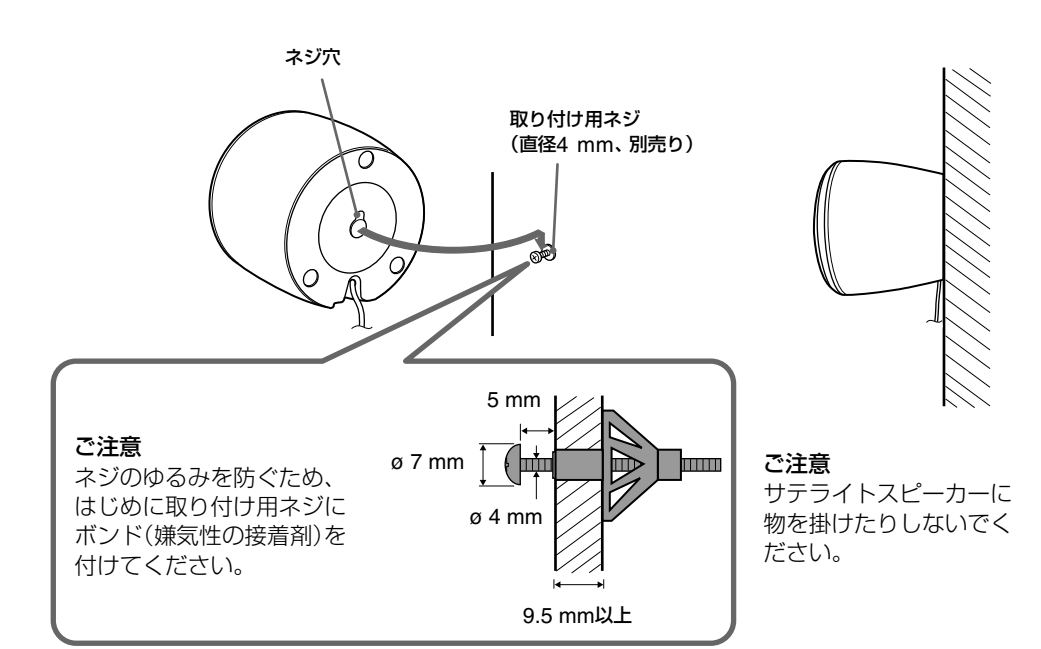
ご注意

スタンドを取り付けるときは、サテライトスピーカーの溝に指をかけないでください。けがの原因となります。



壁に取り付けて使うときは

サテライトスピーカーは、壁に取り付けることができます。以下のご注意にしたがって、安全に取り付けてください。まちがった取り付けかたをすると、スピーカーの落下や、けがや故障の原因となることがあります。



1 取り付け用ネジを壁にしっかり固定する

ご注意

- 壁の厚さが十分であるかどうかご確認ください。石膏ボードの厚みは、9.5 mm以上が適切です。
- 石膏ボードに取り付けるときは、指定の留め金(取り付け用ネジ、別売り)をお使いください。
- 取り付け用ネジのご使用については、付属の取扱説明書をご覧ください。
- 耐荷重量20 kg以上の取り付け用ネジをお使いください。
- 取り付け用ネジに付属の取扱説明書もご覧ください。
- 直径4 mmの取り付け用ネジをお使いください。
- 取り付け用ネジの頭の部分が壁から5 mmの位置にくるように取り付けてください。
- ネジのゆるみを防ぐため、取り付け用ネジにボンド(嫌気性の接着剤)を付けてください。

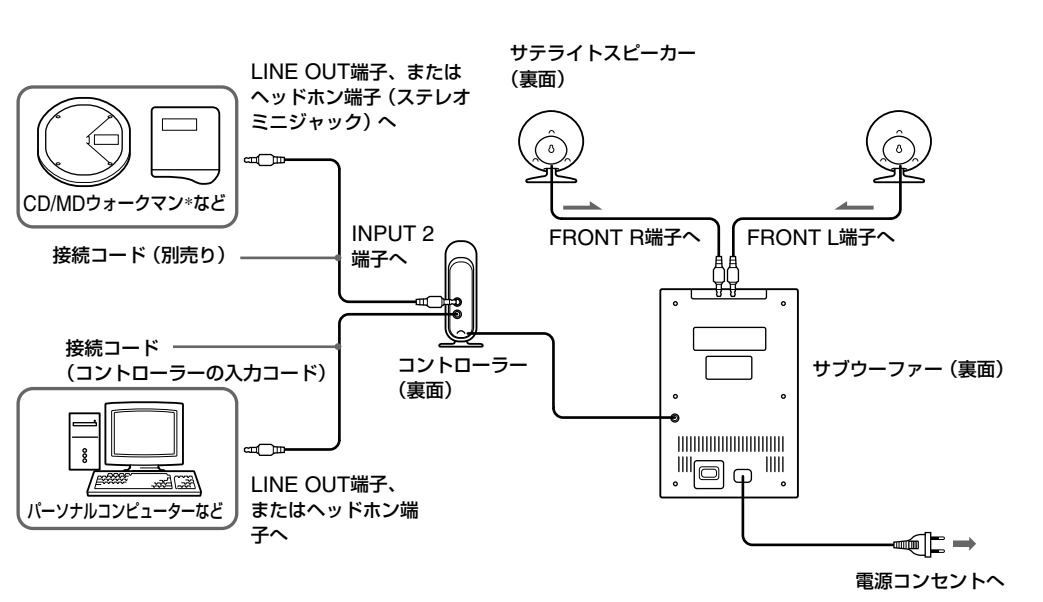
2 サテライトスピーカーを壁に取り付ける

取り付け用ネジを、サテライトスピーカーのネジ穴に差し込みます。

ご注意

- 壁に取り付ける前に、サテライトスピーカーからスタンドを取り外してください。
- お使いになる前に、確実にサテライトスピーカーを壁に固定してください。

接続



* "ウォークマン"、"WALKMAN"はヘッドホンステレオ商品を表すソニー株式会社の登録商標です。

1 サテライトスピーカーをサブウーファーにつなぐ

サテライトスピーカーの位置を確認し、それぞれの端子をつなぎます。

2 コントローラーを、お聞きになる機器につなぐ

– パーソナルコンピューターなど

コントローラーの入力コードを、パーソナルコンピューターなどのLINE OUT端子またはヘッドホン端子につなぎます。詳しくは、パーソナルコンピューターに付属の取扱説明書をご覧ください。

– CD/MDウォークマンなど

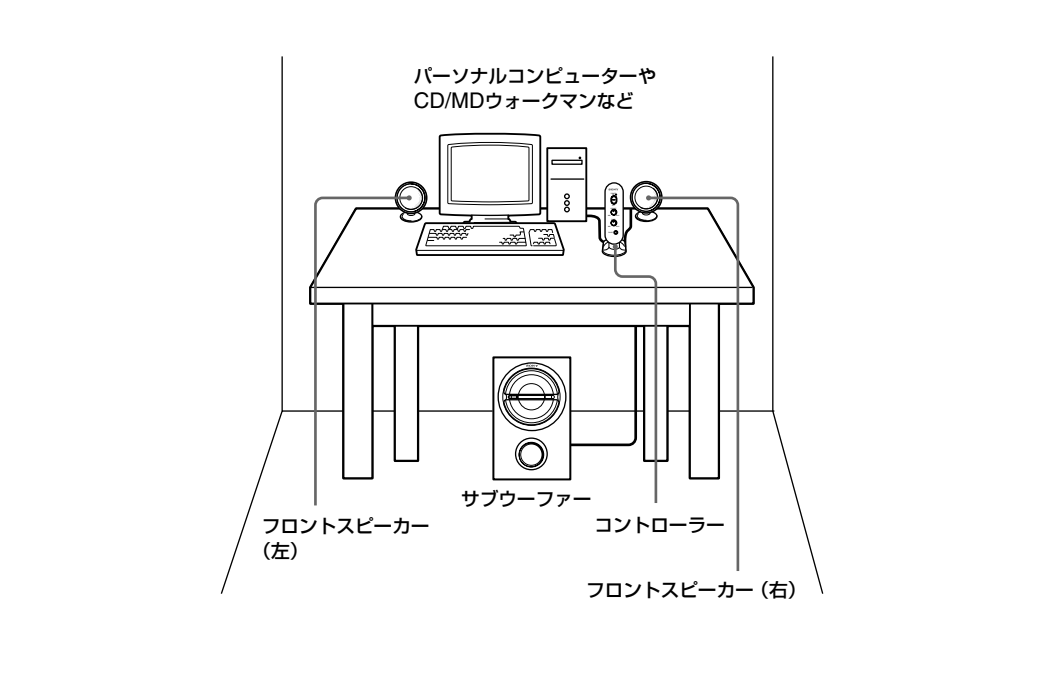
コントローラーのINPUT 2端子と、CD/MDウォークマンなどのLINE OUT端子またはヘッドホン端子をつなぎます。接続コードは本機には付属していません。

ご注意

つないだ機器の音を聞くときは、つないだ機器のうちどちらか一方の電源を入れてください。

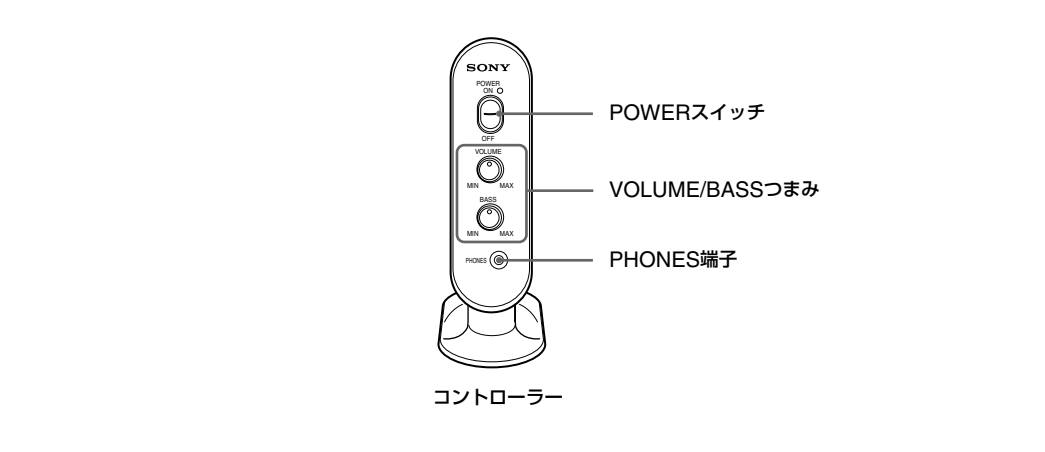
3 サブウーファーの電源プラグを家庭用電源コンセントにつなぐ

4 スピーカーを配置する



使い方

音を聞くときは



VOLUMEつまみ：全体の音量を調節します。

BASSつまみ：低音を調節します(サブウーファー)。

PHONES端子：一人で聞くときに、ヘッドホンをつなぎます。

VOLUMEつまみでスピーカーの音量を最小にしてください。スピーカーをヘッドホン出力に接続する場合は、あらかじめ接続した機器の音量を下げてください。

1 コントローラーのPOWERスイッチをONにする

電源ランプが点灯します。

2 コントローラーにつないだ機器のうち、お聞きになる機器の電源を入れる

ご注意

つないだ機器の両方の電源を一度に入れないでください。両方の機器から音が出てしまいます。

3 コントローラーのVOLUMEつまみを調節する

サブウーファーとサテライトスピーカーの音量を調節できます。ヘッドホン出力につないだときは、つないだ機器の音量も調節してください。

聞き終わったら、POWERスイッチをOFFにしてください。電源ランプが消えます。

ヘッドホンやイヤホンを使うときは

ヘッドホンやイヤホンを、コントローラーのPHONES端子につないでください。

ご注意

メガベース機能や、ウォークマンなどのバスブースト機能は解除してください。ひずみの原因となることがあります。

症状	原因	処置
音が割れる、またはノイズが出る	入力信号が大きすぎる。	接続した機器の音量を下げる。
	接続した機器のバスブースト機能を使用している。	バスブースト機能を解除する。
	接続した機器のヘッドホン端子に接続している。	接続した機器にLINE OUT端子がある時は、LINE OUT端子に接続する。
	入力コードがしっかり接続されていない。	入力コードを確実に接続する。
	テレビに近すぎる所に設置されている。	テレビから離して設置する。
	BASS音量が大きすぎる。	BASSつまみを回して低音の音量を調整する。
音が小さい、または音が出ない	POWERスイッチがOFFになっている。	POWERスイッチをONにする。
	VOLUMEつまみが最小(MIN)に絞られている。	VOLUMEつまみで調節する。
	入力コードがしっかり接続されていない。	入力コードを確実に接続する。
	接続した機器のヘッドホン端子に接続している。	接続した機器の音量を上げる。
電源ランプがちらつく	コントローラーのPHONES端子にヘッドホンが接続されている。	ヘッドホンをはずす。
	音量を上げたときに電源ランプがちらつくことがありますが、故障ではありません。	